



2014.4.5

No. 243

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

「第104回国際女性デー・第56回国際女性デー札幌地区集会」 盛会に開催される!(3.8国際女性デー全国統一行動 北海道集会)

「3.8国際女性デー」は、1857年にニューヨークで起きた火災により、被服工場や繊維工場働く女性たちが多く亡くなったことを受け、3月8日に非人間的な労働条件と低賃金に対し抗議行動を起こしたことが起源となっている。その後、1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際社会主義婦人会議」で、この日を「国際女性デー」として「世界の女性たちが一致して、毎年行動を起こすこと」が提唱された。1977年の国連総会では、「国際女性デー」は女性の権利と国際平和のための「国際デー」となり、現在では世界各地で集会等が開催されている。

今年は連合北海道も「『戦争・暴力・格差のない社会を』～子どもたちが安心してくらせる未来をつくらう!～」というテーマのもと、「国際女性デー札幌地区集会実行委員(10団体構成)」の一構成団体として合同で取り組みを進めてきた。

会場となった自治労会館には約260名が集まり、ほぼ満席。用意した資料が足りなくなるほどの盛況で、男性の姿も多く見られ、本集会への関心の深さがうかがえた。

主催者あいさつで、三宅由美実行委員長(札幌市議、ジェンダー平等をすすめる議員の会)は、「札幌地区集会は56年間絶えることなく集会をつなぎ、また次代へとつなぐ責任を感じている。安倍政権の暴走により戦後最大の平和の危機を迎え、今何ができるかを考えながら女性たちの連帯を強め、ともに行動していこう」と述べた。

続いて、日本体育大学准教授の清水雅彦氏から「安倍政権は日本を『戦争する国』にするのか?～国家安全



保障会議設置法・秘密保護法の制定・集团的自衛権行使解禁論、そして憲法に向かう中で」と題して講演をいただいた。安倍政権のやり方がいかに強引で危険な方向へ導くものかということ、憲法研究者としての様々な角度からの見解も入れつつ熱心に分かり易く話していただいた。「今日の話を広め、職場や地域でも安倍政権を許さない取り組みを進めて欲しい」と締め括られた。

その後、会場の6名から質問・意見が出されたが、一つひとつ丁寧に解説をいただいた。講演、質疑を通して参加者は興味深く聞き入っていた。最後に連合北海道女性委員会の山田悦子委員長が「すべての人たちが人間らしく尊重され、平等に安心して生きていくことができる社会をめざし、一人ひとりがあらゆる場面で積極的に行動を始めよう」という集会アピールを提案。満場一致で採択され閉会した。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20140308_3.8women.pdf



「就活&入社後応援Cafe」開催

就活学生や新社会人の悩み解決へお手伝い

3月7日、札幌市北区のSapporo cafeをお借りし、「就活&入社後応援Cafe」を開催した。

当日は、食品メーカーへの就職を目指す学生や公務員志望の学生など、就活中の大学生が参加した。

この取り組みは、就職活動をする学生・生徒に対し、「働く目線」「やめない会社選び」等をキーワードに開催する「連合北海道 就活応援セミナー」の趣旨をそのままに、より具体的に小規模に開催し、就活生・新社会人の悩みを解決したいと企画したもの。

アドバイザーには、開催場所が札幌公務員受験学院ビルであることも考慮し、北海道庁や札幌市役所で働く組合員のほか、メールでの参加申し込み時に記載いただいた「希望する業種」に現在勤務している組合役員、また具体的な企業名は出さず『覆面』で、一部上場企業の採用担当者に参加いただいた。また今回は札幌市内の高校から就職担当の先生も特別に参加いただいた。

フランクな雰囲気の中で参加者からの質問に対して



各アドバイザーが本音で回答。参加者からは「次の開催はいつですか」と、定期開催の要望もいただいた。

今後も連合北海道は、このような企画を通じて若年者雇用問題解決のお手伝いが出来ればと考えている。

(この記事のアドレス)http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20140307_syukatsu_cafe.pdf

第5期ユニオンスクール渡島開校!

新たなる人材の発掘と組合活動の強化に向けて

次世代を担う労働組合役員の人材育成と、新任役員の資質の強化・育成を目的に行われているユニオンスクール渡島も今年で5年目に入り、3月1日函館パークホテルにおいて第5期生開校式が行われた。

20名以下で、一体感の持ち合える集中した学習体制を求めてきた本スクールの今年度の受講生は18名になり、集まった時点での受講生の顔は不安感と緊張感に包まれていた。

ユニオンスクール渡島の校長でもある連合渡島地協・荒木会長は、ユニオンスクールの果たす役割や受講生に対する期待感を述べるとともに、今日までの修

了生の多くが組合活動の中心的役割をはたしていることや、地域イベントなどの重要な役割を担って奮闘していることなどに触れ、3月・5月・8月に予定している3回の学習会(各4時間・計12時間)に積極的に望んでほしいことを冒頭に訴え、早速学習会へと移行した。

第2期生以降、連続して講師として指導を行っている連合北海道組織対策局・皆川次長の軽快な話術と簡単なゲームでスタートしたスクールの最初は、緊張に凝り固まった雰囲気を溶かし、緩やかな雰囲気作りのための「アイスブレイク」。

徐々に笑いや笑顔が出て来たところで、自己紹介も



兼ねて職場の状況等を伝えあったり、「連合北海道ユニオンかるた」を使って、様々な用語とその意味を考えあったりと、最初の固かった雰囲気はすぐに変わり、気が付けば、お互いが積極的に話したり、共同で作業を行ったり、罰ゲームに爆笑するなど和気藹々の中で進められた。

皆川講師の巧みな進め方もあり、4時間という設定も瞬間に過ぎ、第1回学習会の最後は「労働組合の重要性と組合作り」と題した職場における労働組合の基本学習。

時間が足りなかった感是否定できないが、第1回学習会は無事終了。



第1回目とのこともあり設定された交流・懇親会は、和やかな雰囲気の中で行われ、親しくなった者同士が仕事の内容を紹介したり、連絡番号を交換し合ったり、同年代同士で意気投合したりと、夫々の話が尽きることはなかったが、予定されていた時間が経過し、5月24日(土)に予定している2回目での再会を約束して解散となった。

尚、第3回学習会(閉校式)は8月23日(土)を予定しており、ユニオンスクール渡島での名物となった「模擬団体交渉」を行う予定でもある。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20140301_u-school_5th.pdf



酪農の若者雇用をテーマにシンポ開催 第2回目「酪農業(一次産業)を支える若者雇用応援シンポジウム」

連合北海道(工藤和男会長)は2月28日、札幌で第2回目の「酪農業(一次産業)を支える若者雇用応援シンポジウム」を開催した。酪農ヘルパーや新規就農者の研修・支援策を巡り、講演と意見交換を行った。道内の酪農家や農協関係者ら100人が参加した。

工藤会長は主催者挨拶で、労働組織の連合北海道が酪農の雇用問題に乗り出したきっかけについて、「酪

農ヘルパーから『休みが取りづらい』と労働相談の電話がかかってきた。酪農家からも『従業員がすぐに辞めてしまう』との問い合わせがあった。北海道の農林水産業は基幹産業であり、酪農にはこうした雇用問題や年間200戸程度の離農、労働基準法第41条(労働時間等に関する規定の適用除外)など、さまざまな課題がある。酪農を始め農林水産業が、働きがいがあり、魅力的で誇りと喜びを感じられ、成長し続けられるよう、皆さんと一緒に考えたい」と述べた。

八紘学園北海道農業専門学校の高林透教学部長が、学生を酪農ヘルパーとして送り出す立場から雇用問題について講演。「生産現場から『いい子をお願いします』と言われる。私たちは逆に『いい子が来てくれる環境づくり』を頼んでいる。酪農ヘルパーは初めての土地や朝早い仕事、たくさんの酪農家とのコミュニケーションなど極めてストレスの大きい職業。雇用確保には、仕事の厳しさと同時に安心感を与えることが重要だ。漫画『銀の匙 Silver Spoon』の大ヒットで、当校の資料を求める中高生のメルアドには『Silver Spoon』の文字が多く見られるようになった。酪農家を志す潜在的な需要は増しており、いかに仕事の厳し



さと安心感を伝えられるかが問われている」と述べた。

酪農ヘルパーや農業研修生を積極的に受け入れ定住化に成果を上げている十勝管内鹿追町の喜井知己農業振興課長、新規就農者の拡大に取り組む農水省の北川愛二郎就農・女性課専門官が講演した。

※許可をいただき、(株)酪農乳業速報「酪農スピードNEWS」より転載。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20140228_rakunou_21.pdf



「マタハラ手帳」の設置をお願いしています

「妊娠を理由に退職を強要された」などの労働相談が複数件寄せられています。本人だけではなく会社や管理職・職場の同僚もきちんと法律・制度を認識できていない場合が多く、相談の多くは会社に法律・制度を知らせることにより解決しました。

連合は、妊娠・出産を理由とした解雇・雇い止めなどのマタニティハラスメントに対する法律や制度を紹介した「マタハラ手帳」を作成しています。

母子手帳にも同様の記載はありますが、母子手帳は市区町村に「妊娠届」を提出した後に交付されるものであり、妊娠・出産・育児に関する法律・制度の知識は、遅くとも妊娠が判明する時点で知っておくべきものです。

このようなことから、札幌市内産婦人科を訪問し、本部作成の「マタハラ手帳」の待合室などへの設置を求める取り組みを「マタハラ作戦」と名付けて実施しています。

現在、札幌市内産婦人科56病院を訪問し、15病院の待合室などに設置していただきました。今後も取り組みを継続していきます。



〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/wp-content/uploads/20140320_matahara.pdf

「マタハラ手帳」についてのお問い合わせは、連合北海道まで。



4月の主な動き

- 3回男女平等参画推進委員会
2日(水) 13:30/連合北海道会議室
- 第2回全道メーデー実行委員会
3日(木) 13:30/自治労会館
- 地域医療・介護対策委員会学習会
4日(金) 14:00/ポールスター
- 「STOP THE 格差社会!」全道キャンペーン街宣行動
9日(水) 12:00/札幌バルコ前
- 第3回中小・パート労働条件委員会
10日(木) 13:30/連合北海道会議室
- 第2回教育を考える対策委員会
10日(木) 16:00/連合北海道会議室
- 公正取引委員会北海道事務所要請行動
14日(月) 10:30/札幌第3合同庁舎
- 北海道経済産業局要請行動
14日(月)/札幌第1合同庁舎

イベントカレンダー

- 第7回中央執行委員会
17日(木) 13:30/連合会館
- 「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」4.18中央総行動
18日(金) 17:00/日比谷野外音楽堂
- 第7回執行委員会
23日(水) 10:00/連合北海道会議室
- 第6回地協事務局長会議
23日(水) 13:30/連合北海道会議室
- 第2回政策委員会
24日(木) 10:00/ポールスター

第85回全道メーデー

とき 5月1日(木) 9:30 オープニング
10:15 式典開始

ところ 札幌大通公園8丁目広場